

令和7年12月9日

議会副議長 土屋 学 様

総務建設委員会
委員長 兵藤 慎一

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

1 開催日時 令和7年10月31日（金）午前9時00分

2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席

3 調査事項

(1) 第七次函南町総合計画について

第六次函南町総合計画が令和8年度に終期を迎えるにあたり、令和9年度からの第七次函南町総合計画の策定について、計画策定の背景や計画の構成、策定体制等について説明がされた。

総合計画は10年間の町づくりの理念を基本構想とし、5年毎の基本計画、3年毎の実行計画で構成される町の将来像を実現させるための施策や戦略をまとめたものである。

社会情勢や今後の更なる変化やニーズを見据え、次期計画を策定していくことを確認した。

アンケート等による多くの町民の意見を反映し、町を取り巻く潮流や社会情勢の変化を柔軟に取り入れた計画の策定に努められたい。

(2) 公共下水道における全体計画区域の見直しについて

令和8年度に上位計画である、静岡県が策定する狩野川流域下水道全体計画の見直しが実施されることに伴い、狩野川流域関連である函南町公共下水道全体計画についても、見直しをすることとなったため、その方針について説明がされた。

見直しに伴い、町における下水道の現状、維持管理及び改築更新、財政状況等の課題や見直しの考え方、今後の予定等について確認をした。

今後、人口減少等により使用料収入の減少が見込まれ、厳しい財政状況が想定されるが、適切に整備を進められるよう計画策定に努められたい。

(3) 流域治水対策について（現地視察）

気候変動により降雨が頻発化・激甚化していることを踏まえ、国土交通省沼津河川国道事務所伊豆長岡出張所において、狩野川水系の流域治水に関する現地視察を行った。

現地では、近年発生した洪水に対して被害軽減を図る施策である函南町水災害対策プランの対策メニューの一環として国（沼津河川国道事務所）が実施する狩野川流域の治水対策及び狩野川水系河川整備基本方針の概要について説明がされ、狩野川放水路のトンネル内部を確認した。

町民の安心・安全のため、引き続き国、県及び流域関係市町と連携を図り、協働による治水対策の取り組みに努められたい。